

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量(技術情報第11号)
について (送付)

このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のチャバネアオカメムシの越冬量は平年より多く、本年7月頃までの発生量は、平年より多いと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月頃までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる(図1)。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬量から本年7月頃までの発生量を予想し、防除対策の基礎資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査時期 令和6年(2024年)1月
- (2) 調査地点 県内16か所の定点(表1)
- (3) 調査方法 各地点3m²(1m²×3カ所)分の落葉を採取し、落葉中のチャバネアオカメムシの越冬虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内16地点の合計は46頭(前年8頭、平年21.0頭)と平年比多で、過去10年で2番目に多かった。また、捕獲地点数も、16地点中14地点(前年6地点、平年5.6地点)と平年比多で、過去10年で最も多かった(表1)。

4 今後の発生量予想等

- (1) 本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数及び捕獲地点数は平年比多であることから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年より多いと予想される。
- (2) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- (3) ここで示したデータには、常緑樹の樹冠内で越冬するツヤアオカメムシの越冬量は含まれていないが、暖冬傾向で推移しているため、昨年秋季の飛来が多かった地域ではチャバネアオカメムシと同様の対策を行う。
- (4) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ(<https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/75/125504.html>)に4月以降随時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や

防除適期を判断する。

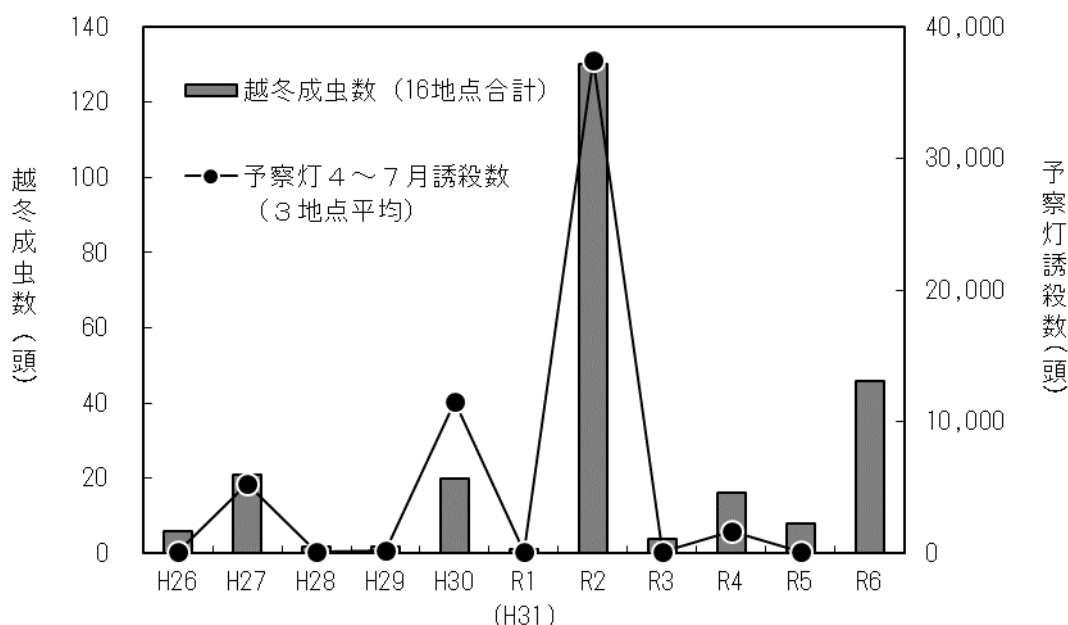


図1 チャバネアオカメムシの越冬虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。

表1 チャバネアオカメムシの越冬数（頭/3m²）

調査年 調査地点	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	平年
熊本市河内町①	1	0	0	0	0	0	9	2	0	1	4	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	7	
熊本市植木町	1	2	0	0	0	0	18	1	1	3	11	
宇城市三角町①	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	
宇城市三角町②	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
宇城市不知火町	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
宇城市松橋町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
宇城市豊野町	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	1	
玉名市天水町	0	0	0	0	2	0	9	0	5	0	3	
山鹿市蒲生	1	5	1	1	3	1	22	0	1	1	4	
菊池市玉祥寺	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	1	
甲佐町西寒野	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
氷川町大野	0	2	1	0	0	0	7	0	1	1	1	
芦北町田浦	0	1	0	0	2	0	9	0	0	0	0	
天草市本渡町	0	5	0	0	4	0	17	0	2	0	6	
苓北町内田	0	0	0	0	3	0	27	0	0	1	1	
越冬数合計	6	21	2	2	20	1	130	4	16	8	46	21.0
捕獲地点数	6	9	2	2	8	1	12	3	7	6	14	5.6

- 1 調査時期 令和6年（2024年）1月
- 2 調査地点 上記県内16か所の定点
- 3 調査方法 1地点3m²（1m²を3か所）分の落葉を採取し、落葉中の越冬成虫数を計数した。

熊本県病害虫防除所
 （農業研究センター 生産環境研究所内）
 担当：清永、岡島 TEL：096-248-6490